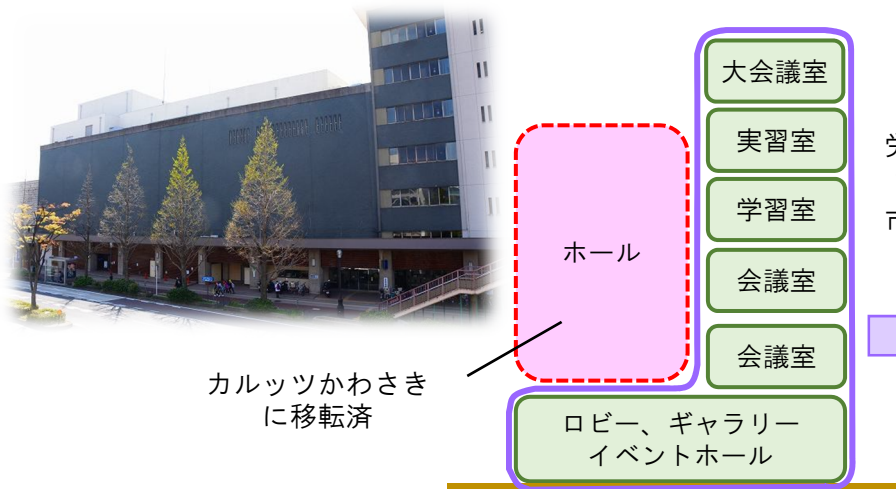


「川崎区における市民館機能のあり方」では、次のような考え方が示されています。

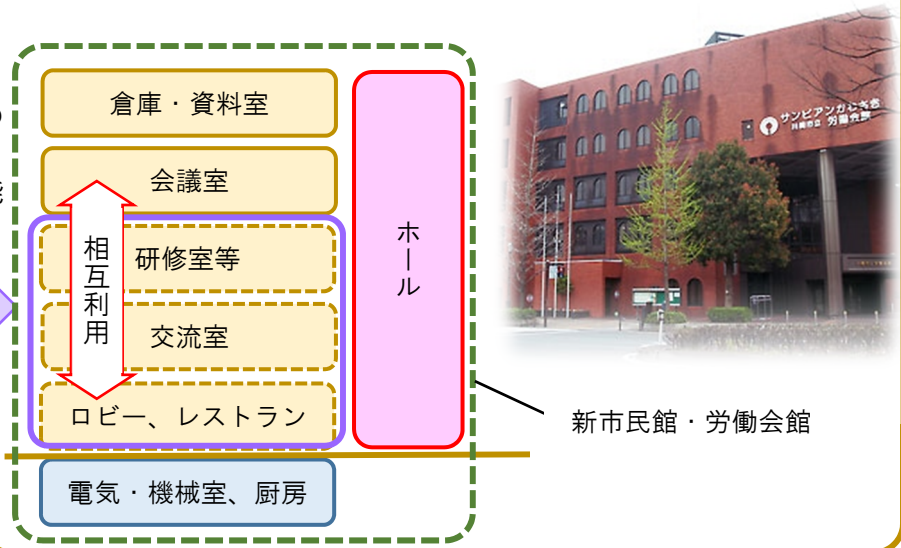
### 『教育文化会館（市民館）』とは？

- \* 「市民館」は、川崎市教育委員会が所管する「公民館」に相当する社会教育施設です。
- \* 市民のみなさんが「つどい」「まなび」「たのしみ」「つながる」ために、さまざまなテーマの催しやサークル活動などが行われています。
- \* 川崎市では、各区に1館という広い地域で、大ホールを備えた都市型施設として、「市民館」が設置されています。
- \* そのうち、この「教育文化会館」が川崎区の市民館施設になります。
- \* 昭和 42(1967)年 3 月設立／約 15,100 m<sup>2</sup>



### 『サンピアンかわさき(労働会館)』とは？

- \* 「労働会館」は、働く市民のみなさんの勤労意欲の向上をめざし、「いこい」「語らい」「学びあう」ための場を提供しています。
- \* また、「労働」に関する資料や専門図書をそろえた労働資料室もあります。
- \* 働く市民の方々のキャリアアップや自己啓発をめざした講座などを開講し、多くの人に利用されています。
- \* 館内には、762人を収容できるホールがあります。
- \* 平成 28 年より、(公財)神奈川県労働福祉協会が指定管理者として運営を行っています。
- \* 昭和 56(1981)年 8 月設立／約 10,100 m<sup>2</sup>



## 「新市民館・労働会館」に関する基本構想のイメージ

平成30年度に策定する「新市民館・労働会館に関する基本構想」においては、次のような内容を盛り込みたいと考えています。

### 1. 新市民館・労働会館の利用イメージ

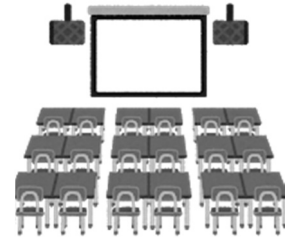
- \* 施設をどのように使いたいか。
- \* 施設で何をしたいか。



それらの利用を行うために必要な機能（諸室）とその規模は？

### 2. 新市民館・労働会館に求める機能や規模

- \* どのような機能（諸室）が必要か。
- \* それらの機能（諸室）はどのくらいの広さを必要とするか。
- \* それらの機能（諸室）にはどのような配慮が必要か。



新市民館・労働会館をより利用しやすくするためのアイデアは？

### 3. 新市民館・労働会館における運用イメージ

- \* 新市民館・労働会館における運用上の要望は。  
（開館時間、予約方法、運営への市民参加、付加したい機能など）



施設の現状を踏まえた中で、どのようなフロア配置が可能か？

### 4. 新市民館・労働会館におけるフロア配置イメージ

- \* 現状を踏まえながら、各階の諸室配置イメージを検討。



計画・設計段階において配慮して欲しいことは何か？

### 5. 基本計画・設計に対する課題・要望

- \* 次の計画・設計ステップへの課題・要望を整理しておく。

